

女性のつながりサポート事業【糸満市】

総事業費	5,698 千円
交付金額	4,158 千円

地域の実情と課題

本市の産業分類では、第三次産業の比率が高く増加傾向にある。男女別産業構造分類就業者では、男性は「建築業」、「卸売・小売業」となっており、女性は「医療・福祉」、「卸売・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」が多くなっている。正規雇用の割合では男性:5割、女性:3.5割、また非正規雇用の割合でも男性:1.5割、女性:5割となっており男女の差が生じている。

事業の特徴

NPO法人による

- ①経済的な理由による生理用品の購入が困難な方への支援
- ②就労やDVなど様々な不安を抱える女性への相談に応じるため、電話やメールでの相談機会の提供（必要に応じてアウトリーチも実施）
- ③孤独や孤立の状態にある不安を抱える人に対して、ピアサポートのための居場所提供

事業の効果

電話・メールによる相談件数（目標500件・実績267件）、来所・訪問による相談を334件実施しており、継続及び新規の相談を必要としている方への相談や支援機関との連携を図った。

生理用品の配布（目標400件・実績258件（232パック（周知用小分け860含む））も継続して実施し、経済的困窮者への支援に加え事業内容の周知を強化した。

ピアサポート交流会も年6回実施した。外国にルーツを持つ女性を対象とした交流会も実施し、支援につなげた。ピアサポート参加人数も増加傾向がみられる。

目的・目標

NPO法人の知見やノウハウを活用し、孤独・孤立・自殺対策などの未然に防ぐための支援を実施する。
物価高騰、解雇などの要因による生活や仕事への不安や閉じこもりから起こるDV被害、子育てや介護など、女性が抱える困難や不安の解消を図る。

【相談件数】目標:700件 実績:601件

【生理用品配布場所】目標:54か所 実績:48か所

連携団体

委託先「NPO法人 子育て応援隊いっぽ」

拠点型こどもの居場所整備事業や小規模保育所事業、ファミリーサポート事業などで培った経験を生かし、生理用品の配布、電話・メール相談のほかに訪問相談、ピアサポート等を実施した。
個々の悩みに応じて糸満市マザーズスクエアいいまある、くらしのサポートセンターきづき（社会福祉協議会）など支援機関に繋ぎ支援を行った。

今後の課題

困難を抱える女性をどのように掘り起こすかが課題となっている。
支援に関わる地域の機関や学校や市役所などの公的機関においては、生理用品の配布を通して事業内容が周知されてきているものの、新規相談件数を増やすための取り組みを検討する必要がある。

地域の実情に詳しい自治連絡員や民生委員との情報連携を図る、事業内容を周知するチラシの掲示先の新規開拓などのさらなる周知強化策を検討したい。

事業の概要

女性のつながりサポート事業

【事業概要】

不安を抱える女性支援のためNPO法人を窓口として、相談・訪問支援、居場所の提供を行う。



糸満市

委託

NPO法人 子育て応援隊いっぽ

【業務内容】

- ①電話・メール相談
- ②来所・訪問相談
- ③生理用品の配布
- ④ピアサポート相談
- ⑤カウンセラー等専門相談

必要に応じて、支援機関
いいまある(ひとり親家庭生活支援)、
きづき(自立相談支援・就労訓練事業 他)
等へ繋ぐ。

【協力施設】※生理用品等の提供場所

- ・小中学校・高校(17校)
- ・保育施設(13施設)
- ・子育て支援センター(2か所)、
- ・児童館(2箇所)、
- ・障がい者地域活動支援センター
- ・児童デイサービス(2箇所)
- ・子どもの居場所
- ・市役所、社協 等



ピアサポートの様子